

受講者	男性 37歳 知的障害軽度（B2）
受講した訓練	障害者向け職業訓練 実践能力習得訓練コース（企業実習型訓練） 「木材加工」
受講の動機	通所している支援施設から受講を薦められた。職場見学をして通える場所でもあり、自立(就職)を目標にチャレンジした。
就職先の希望	希望雇用形態：特にこだわらない 希望職種：受講した訓練を生かした仕事を希望
就職の状況	当初は指導内容の理解ができていない状態で、返事や行動する傾向があった。1年が経過し、仕事も覚えていろいろな作業を任せられるようになった。
就職先の評価	基本的なマナーや規律が理解できるようになり守れている。自ら積極的に作業を行い、加工機械の投入や作業の準備が一人でできるようになった。現在は会社にとって必要な人材に成長した。

## 訓練の内容

- 訓練の目標 社会人としての基本的な知識（マナーやルールの遵守、コミュニケーション能力）の習得と加工製品の取扱いについて習得する

### 主な訓練カリキュラム

- (学科) ・社会人マナーの習得（挨拶、身だしなみ、言葉使い、自己管理等）  
 ・職場ルールの習得（会社概要、就業規則、※5S、ホウレンソウ(報告・連絡・相談)の理解)  
 ・安全教育と衛生管理（危険予知、安全作業、応急処置など）  
 ※5S・・・整理・整頓・清掃・清潔・習慣

- (実技) ・作業手順の習得（作業方法と順序、重点ポイント、出来映えなど）  
 ・使用機器の取扱いについて（名称と使い方、危険箇所の確認など）  
 ・清掃業務について（担当場所の清掃、清掃用具の使用方の理解）

(学科の訓練時間) 14時間  
 (実技の訓練時間) 227時間  
 (総訓練時間) 291時間  
 (訓練日数) 39日  
 (訓練期間) 2か月



- 障害に対応した指導の工夫や配慮について

- ・知的障害のため理解能力が低いので、毎回作業前に内容手順を指導した。
- ・仕事を教える時、怒らないで褒めることを心掛け、辛抱強く指導した。
- ・小さなことでも声を掛け、相互のコミュニケーションを図れるようにした。

- 訓練の成果について（訓練機関より）

- ・任された仕事の基本的な作業ができるようになった。今後はもう少し難易度の高い仕事を指導していく。
- ・仕事内容の理解やパートナーへの気配りをし、作業を進行できるようになった。